



みんなで学ぼう！電池のしくみ・リサイクル！ -イベントレポート (6) -

レポート：近畿経済産業局 次世代産業・情報政策課

万博会場の一角に、ひときわ賑わうブースがありました。バッテリーの魅力をより多くの人に知ってもらうために、2025年10月、大阪・関西万博「関西パビリオン」多目的エリア（徳島県催事）にて電池のしくみやリサイクルを楽しく学べる体験型イベントを3日間実施したのでそのイベント内容をご紹介します。

10月8日（水） 電池エネルギー体験教室 （BAJ協力）

1日目は、関西蓄電池人材育成等コンソーシアムの事務局を務める一般社団法人電池工業会（BAJ）に協力いただき「電池エネルギー体験教室」を実施しました。

当日は子どもたちだけでなく、幅広い世代の方が興味津々で足を止めます。テーブルの上には、フランスパンに加えて、鳴門金時（さつまいも）やすだちゼリーなどの徳島ならではの食材が並んでいます。参加者からは「これが電池になるの」と半信半疑に話します。講師の方が実演し、実際に電池として反応する場面を見た参加者からは、「なんで!?!」、「すごい!」

などと声が上がりました。このように、身近なものが電池になるという驚きとともに、電池の原理への理解を深めるきっかけとなりました。体験後には、電池工業会の専門講師による解説もあり、電池の基礎知識や仕組みについて、分かりやすく学ぶ時間も設けられました。

講師として登壇したBAJの高田さんからは、以下のコメントをいただきました。

「電池って面白い」、「身近な技術なんだ」という声を多くいただき、小さいお子様や大人の方にも興味を持ってもらうという事を肌で感じることができました。体験型学習の大切さを改めて実感しました。



（上図）電池エネルギー体験教室の様子

10月9日（木）～10日（金）電池クイズ （JBRC協力）

2日目と3日目は、2025年10月に関西コンソのメンバーとして参画した一般社団法人JBRCに協力いただき「電池クイズ」を実施しました。

この電池クイズは、参加者がクイズに答えながら敵キャラクターを倒していくゲーム形式になっていて、正解数に応じて景品をもらえるなど、学びながら楽しめる工夫がいっぱいです。電池についての理解を深めるとともに、リサイクルの大切さについても関心を高めるきっかけになりました。参加者からは、「電池のことがよく分かるイベントだった」などといった声がありました。

講師として登壇したJBRCの竹原さんからは、以下のコメントをいただきました。

リサイクルクイズゲームに大勢の方が来られ、「リサイクルの必要性が分かった」等の感想をいただき、充電式電池のリサイクルについて楽しく学んでいただきました。今後も多くの方に充電式電池のリサイクルの重要性を周知していきたいと思います。



（上図）電池クイズの様子

10月10日（金） みんなで学ぼう！電池のしくみ・リサイクル！

イベント最終日の午後からは、「みんなで学ぼう！電池のしくみ・リサイクル」をテーマに、電池の役割やリサイクルの重要性について楽しく学ぶ事ができる企画を実施しました。

イベントの前半部分では、エアロバイクを使った「発電グランプリ」を開催しました。

参加者が実際にペダルをこいで発電し、その発電量を競い合うことで、電気の作る大変さや面白さを体感しました。

イベント後半部分では、「電池教室」を開催しました。JBRCの専門の講師による分かりやすい解説に加え、○×が書かれたうちわを使った参加型クイズも実施しました。これは来場者がうちわを掲げて○か×か回答するもので、会場は一体感のある盛り上がりを見せました。



（上図）エアロバイクを用いた発電グランプリの様子

今後のバッテリー関連イベントについて

BAJ・JBRCでは、こども向けの様々なイベントを全国で展開しています。下記のHPリンクよりぜひご確認ください。

編集後記

今回のイベントには、3日間で2,111名、31都道府県から多くの方にご来場いただきました。体験後には96.9%の方が蓄電池への興味・関心が高まったと回答され、本企画が学びのきっかけになったことを嬉しく感じています。今回の成果を励みに、今後も電池を身近に感じてもらえる取り組みを続けていきたいと思っています。



BAJ：大阪関西万博・蓄電池普及啓発イベント「みんなで学ぼう！電池の仕組み・リサイクル！」へ出展協力

JBRC：「大阪・関西万博」環境フェスタかごしま2025に出展しました